

令和4年度 事業計画

本部事務所が市役所西庁舎から岡崎市社会福祉センター（美合町五本松）に移転し、1年が経過しました。

会員をはじめ、関係者の皆様も少しずつ慣れてきたことかと存じます。

現在、新たな変異株が発見されるなど、一向に終息の目途が立たない新型コロナウイルス感染症の影響で外出時のマスク着用や手指消毒を始め、多くの日常生活を変えざるを得ない日々が続いており、今では街を往来する学生から買い物中の主婦、会社員等全ての人がマスクを付けている風景が当たり前となり違和感さえ感じなくなってきました。

第3回目のワクチン接種を済ませた会員の方も多数おみえかと思いますが、当シルバー人材センターにおいても新型コロナウイルス感染症の影響は免れず、各種講習会やイベントの中止・縮小を余儀なくされるなど、三密を避ける為の行動制限等により、令和3年度は各委員会も事業計画どおりの活動ができませんでした。

また、業種によっては受注が激減したり、取引先からの仕事が途絶えてしまったりと先行き不透明な状況が続いています。

更にこのような状況の中、ロシア軍が隣国のウクライナに軍事侵攻を開始するという信じがたい暴挙により、世界中が不安に陥る事態となっています。

これにより世界各国がコロナウイルス対策だけでなく、思わぬ事態への対応を余儀なくされ混迷を極めていきます。

今後の世界情勢や経済情勢は全く予想できない状況にあります。少しでも早く以前の平和な日々が戻ることを願うばかりです。

さて、令和4年度は基本方針の6つの柱を主体に事業を進めてまいります。

特に「インボイス制度に向けた対策の推進」では、新たな対策や方法で令和5年10月からの施行に間に合わせなければならず、令和4年度中には方針を決定し周知する必要があります。

現在、全国のシルバー人材センターが一丸となり最善策を模索している最中です。

そして、令和4年度は「第3次 経営改革5か年計画」（令和4年度～令和8年度）の1年目となりますので、各年度ごとに数値目標を設定し目標達成に向けて取り組んでまいります。大変厳しい展開を想定せざるを得ないのが実情です。

令和4年度も基本方針及び実施計画に基づき事業展開を進めてまいりますので、引き続き会員の皆様を始め、関係者及び関係機関の皆様方には一層のご支援とご協力をお願いします。

1. 基本方針

- (1) インボイス制度に向けた対策の推進
- (2) 会員の増強に向けた取組強化
- (3) 安全就業と感染症予防の取組強化
- (4) 事務局体制の再編
- (5) 「第3次経営改革5か年計画」の推進
- (6) その他

2. 事業実施計画

(1) インボイス制度に向けた対策の推進

なぜインボイス制度がシルバー人材センターにとって大きな問題かということですが、公益社団法人であるシルバー人材センターにとっては運営費を担う貴重な収益が委託請負契約であり発注者に負担していただいている事務費収入です。

今のままインボイス制度が施行されると、経過措置期間が設けられているとはいうものの事務費収入額と納付する消費税額がほとんど同じ金額になってしまう制度だからです。

現在、全国のシルバー人材センターで各種の対策方法について協議、検討がされておりますが、令和5年10月の施行日まで残された時間はあまりありません。

現段階では対策方法の選択肢が限定的で、具体的な対策や方針が決まりましたら発注者、会員の皆様を始め関係機関等に周知を進めてまいります。

(2) 会員の増強に向けた取組強化

コロナウイルス感染情報を把握し、実施の可否を判断しながら継続的なPRを展開します。

- ① シルバー人材センターの認知度向上を図る為の施策を積極的に展開する。
 - ア) 会員による紹介キャンペーンを継続して実施する。
 - イ) 他機関の機関紙や情報誌を活用してのPRを行う。
 - ウ) 新聞・TV等のメディアを活用してのPRを検討する。
 - エ) 市役所設置の市民用封筒を活用したPRを行う。
 - オ) 会員数の少ない地域を絞り込んでのポスティング活動を実施する。
- ② 公共施設や商業施設を活用してのPRやボランティア活動によるPRを展開する。
- ③ 女性会員の増強を図る為、女性を対象とした企画や募集を展開する。

(3) 安全就業と感染症予防の取組強化

世界中でパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症ですが、岡崎市でも多くの市民の方が感染し増減の繰り返しとなっており、事態の終息には程遠い状況です。

会員各自での感染予防の徹底はもとより、会員就業先の感染状況の情報収集に努めるとともに、就業の一時停止も踏まえた措置等、適切な対処を行う。

また、前年度に多発した歩行中の転倒事故防止に向けた情報の発信を継続的に行う。

① 会員の傷害事故及び賠償事故発生時の情報を共有し、同様事故の再発防止に努める。

ア) シルバーだよりにて事故発生情報を周知する。

イ) 地域で多発傾向にある事故内容について、関連業務に就業する会員に情報提供する。

② 好調に推移する労働者派遣事業の実績増にともない、センター組織には属さない新たな「衛生委員会」を設置し、必要に応じた会議・活動を行うとともに研修安全委員会と連携した安全就業に係る企画を実施する。

③ 交通事故防止に向けた取組について

ア) 重篤事故になりやすい、徒歩・自転車・バイクで通勤している会員を対象とした交通安全講習を検討する。

イ) 自転車を使用する会員にヘルメットの着用と賠償保険への加入促進を図る。

(4) 事務局体制の再編

本部を始め額田支所及び花園支所の職員体制を再編する。

ア) 本部事務局を始め各支所における職員配置と体制の見直しを図る。

イ) 職員の定年等による退職を踏まえ、計画的な新規職員の採用を進める。

(5) 「第3次経営改革5か年計画」の推進

令和4年度から令和8年度までの5か年における運営及び事業展開の基本方針を策定しました。

新型コロナウイルス感染症を始め、様々な問題により世界経済情勢は全く先が見通せない状態となつていまして、現状を踏まえ経営改革5か年計画においては、経過年度単位で内容と計画の進捗状況を検証し、健全な財政運営を目指した適時な対応を図ってまいります。

令和4年7月中には会員の皆様をはじめ関係機関及び関係者の皆様に「第3次経営改革5か年計画」の配布を予定しています。

(6) その他

ア) 花園高齢者生きがいセンター指定管理業務の今後のあり方について検討する。

イ) 健全財政運営を図ることを目的とした計画的な事務費率の改定を検討する。

ウ) シルバー支援隊事業及び「和（なごみ）」事業について利用者開拓を図る。

エ) 各地域班単位のボランティア活動の推進及び役職員、会員による一斉ボランティア活動を計画し実施する。

オ) 緊急事態発生時に対応する災害及び新型感染症発生時の事業継続計画（BCP）を策定し、適切に更新する。